

やじうま議会ウォッチング

平成30年12月議会 「議会の使命を肝に銘じて。」



今議会は、選挙後初めての定例議会、陳情4件、議員提出議案1件、町長提出議案13件審議。3名の総括質問、7名の一般質問。

この議会は新人議員3名、2期7名、3期1名、5期2名、6期1名。町長経験者もいる経験豊富な議員が集まった議会なので、はなはだおこがましいが、議会の二つの使命を掲げさせていただき、その責任の重さを議員の皆様が肝に銘じてほしいと願います。

議会の使命

☆具体的な政策の最終決定

☆行財政運営の批判と監視

二宮町議会基本条例第17条第1項には、「議会は、二元代表制の下、町長等と緊張ある関係を保ちながら町長等の事務の執行監視及び評価を行うとともに、政策立案及び政策提言を行う。」第2項には、「本会議の一般質問においては論点及び争点

を明らかにするために一問一答方式で行う。」と規定されています。本会議中に議員が笑って質問したり、途中で質問を投げ出したせいで緊張ある関係は保てません。また論点争点がわからず、町の答弁を現状説明や「検討中」

1 安全・安心なまちづくりの拠点づくり	
被災時災害対策本部として機能する役場庁舎の整備→行政機能集約化による利便性や質の高いサービス提供・ラヂアンや図書館と連携した町の新たな交流拠点整備	□新規
2 自然の中で安心できる子育て環境の充実	
保健センター内に子育て世代包括支援センター「にのほぐ」で妊娠から子育て期の各段階において「かかりつけ保健師」の切れ目のない支援の充実	□継続
福祉や医療の分野とも連携し、支援を必要とする子どもに対する継続的な支援や子育てに不安を感じている保護者が気軽に相談ができる体制の充実	□継続
「子どもとともに大人も楽しみ学べる場」としての東京大学果樹園跡地の活用。ボール遊びができる公園の整備等	×新規
3 子ども・教師・保護者・地域の人が共に学び育ちあう教育の充実	
小中学校へインターネット環境整備やタブレット導入、英語教育の充実、論理的思考力や創造性・問題解決能力などを養うプログラミング教育の導入等	×新規
全小中学校の普通教室への空調設備の導入	×継続
全小中学校にコミュニティ・スクール導入	□新規
小中一貫教育のもと適切規模を確保する学校の再配置、通学区域の変更	□新規
4 ひとり暮らしを支える地域づくりの推進	
二宮型「地域包括ケアシステム」の確立	×新規
5 第2のふるさととしての町の魅力の発信強化	
町の強みである、海や山などの豊かな自然環境や暮らしやすい良好な住環境を守り、魅力あるまちづくりの推進	×継続
暮らしやすさを「にのみやLife」として知ってもらい、「きみのふるさとなりたい」というキャッチフレーズとともに町内外に認知度をさらに高める効果的な情報発信	○継続
6 持続可能で多様性を認める共生社会の推進	
「響き合う」まちづくりのための現場に赴き様々な意見交換をしながら、町民力の高い住民と一体となった自治体運営	□新規

で終わらせるのは、問題です。特に、今回の所信表明が前回の所信表明（「お風」ホームページ参照から「財政のゼロからの見直し」や条例施行などが消滅し、大きく後退したこと、バックアップが不明なまま町民に分担させること、選挙直後に選挙の争点とも言える新庁舎建設費が11億円近く加算され26億400万円という詐欺まがい行為を議会が厳しく批判し、監視しなくても許されるのでしょうか。

平成30年12月17日村長所信表明の取り組むべき6つの柱概要
注：□新規は平成26年(前回)の所信表明になく今回初めて出てきた施策。□継続は前回の所信表明にないが途中から実施され現在も継続している施策。×新規は前回の所信表明にあるが実施されず新規施策。×継続は前回の所信表明にあるがメインは実施されず継続している施策。(「しお風」判断)

季節のごはん

「お花見べんとう」
しばらくご無沙汰してしまいました。今年もよろしくお願ひいたします。

吾妻山の菜の花で始まった二宮の春は、桜、みかんの花と進んでゆきます。お弁当を持って、さあ、お花見に出かけましょう。今でこそ「○○べんとう」と銘打ったおべんとうが各地を賑わせていますが、圓山創業当時はあの鎌倉でさえ「駅弁ですか」と聞かれたほどでした。

お茶席でいただく茶懐石、おしのぎとして召し上がる点心、野立てで楽しむのが野立てべんとう。彩り良く色々に味付けされたものを組み合わせ一つ一つの器に盛り込む。その知恵と工夫が作り手の冥利でもあります。蓋を開けて、そこに小さな春があったらステキですね。

吾妻山・菜の花べんとう
瀬の海 鯖の棒寿司
ご予約にて販売中です。



☎0463-71-4919
二宮町松根 6-15
www.kyounoaji.com

	議員名 (敬称省略)	質問概要	傍聴コメント
所信表明に対する総括質問 12月17日(月)	前田憲一郎 <2期> 監査委員	重点的方針、分野別方針等について現段階での具体策 1 ブロック塀、大木の倒木、道路の破損などの危険箇所の解消 2 高齢者の買い物難民をなくすなど地域で自立した生活を支援していく具体的施策、高齢者の医療費無償化 3 運動習慣づくりの促進施策 4 特色ある幼稚園教育の支援、町側のコミュニティ・スクール施策、就学援助新入学児童生徒学用品費の増額、児童生徒の水泳授業数の10時間確保 5 スポーツを通じて仲間を増やし、地域のつながりやきずなを強める課題の克服施策	全ての町道を点検されるなど地道な議員活動に頭が下がります。その活力を健康マラソンや特色ある教育を具体的に提案し、財政逼迫化する二宮町の財政目的や行政と住民・民間の役割を明確にし、町の責任を明らかにしてほしい。住民のやる気を促す機運を盛り上げる具体的な仕掛けの追及もしてほしい。
	一石 洋子 <2期>	所信表明について問う 1 町民が誇りをもってまちづくりの力を発揮できる新しい仕組みの必要性 2 新庁舎整備について町民との意見交換の設定、成果の受け止め 3 自然をいかした健やかな暮らしについてもっと踏み込んだ二宮町の価値を高める施策	住民自治に視点を置いて、住民総会、農を活かしたまちづくりなど事例も交えた格調高い質問論調は素晴らしい。しかし、要望で終わらせるのではなく、二宮の実態を示しながら新庁舎建設や住民自治等の問題提起をし、きちんとした具体的な町長答弁を引き出してほしい。
	渡辺 訓任 <2期> 教育福祉常任委員会委員長	所信と諸施策の方向についての所見を問う 1 小児医療費助成制度の所得制限撤廃や 18歳まで拡充 2 計画的な教育への投資の具体的内容、学校規模の適正化と学校再配置を急ぐ必要性の有無 3 「二宮型『地域包括システム』」の内容、恒道会破産申し立てへの町として今後の対応、高齢者の「買い物不便解消」「移動の自由を保障する」観点からのコミバスの充実 4 町の経済循環率の低さへの考え、新庁舎建設や小中学校普通教室へのエアコン設置が地域経済に与える効果 5 事業の見直しの具体的考え、時間外労働増加は人減らしに原因?	さすが 2 期目。二宮の実態を具体的な事例やデータを盛り込みながら、総括質問にふさわしく幅広い視野で子育て支援・教育、高齢化対策に重きを置きながらも、町の経済を活性化させる「地消地産」、住民ニーズに応える職員の働き方改革に対する町長の考えを厳しく追及。3 回目の町長答弁は、たじろいでいる様子で、「地消地産」の研究も約束させました。
一般質問 12月20日(木)	露木 佳代 <2期> 教育福祉常任委員会副委員長	職員の働き方を抜本的に改善することについて 1 時間外手当不払い後の実施内容と働き方改革へのつなぎ 2 「事業の整理」と「職員のモチベーション」の実手法、ビジョン 3 法令順守が基本である首長としてのコンプライアンスに対する考え 切れ目のない子育て支援の強化について 1 情報提供の場面、頻度、内容 2 発達支援ハンドブック作成の是非 3 要支援児保護者の語り合いの場の可否	9月議会で時間外不払いを暴いたのは素晴らしい。しかし、選挙期間中の公職選挙法に抵触する恐れがある町長の行為ではなく、選挙直後に莫大な費用加算した新庁舎建設を問題にしてほしい。子育て支援の職員答弁で「グレイゾーン」という言葉が福祉用語として使われること自体も問題では。
	羽根かほる <1期> 議会だより編集委員会副委員長	職員の時間外勤務の在り方と管理方法について問う 1 時間外労働対象業務・職務、具体的な対応策、実施のスケジュールと組織体制 2 管理職職員への事前申告、承認制通常通り行われているか 3 時間外労働時間の目標 4 時間外労働の減少とともに住民サービス向上を目標とする対応策	質問は無難にこなし、時間外勤務の現状、改善点、時間外ゼロ目標などが明らかに。しかし、単純に時間外を減らす効率化を問題とするのではなく、法令違反が慣例化してきた二宮町の組織体質、パワハラの原因究明を。
	二宮 節子 <2期> 総務建設経済常任委員会委員長	学校における防災教育について 1 自助教育 2 共助教育 高齢化が進展する今後の投票所について 1 期日前の移動投票所 2 投票日の共通投票所 「地域の通いの場」の今後について 1 参加して頂くための工夫 2 担い手への講習会	先進事例や国の支援なども例示して具体的な対策を追及する姿勢は感心。特に投票所については対応の遅れを町民の権利侵害として厳しく追及。しかし、学校における防災教育や通いの場については二宮の実態も踏まえて追及し、要望で終わらせないでほしい。
一般質問 12月21日(金)	大沼英樹 <1期>	新庁舎移転場所について予定地域が適当であるかを問う 1 洪水警戒区域指定され、実際の被害の現状をしっかりと表記説明した上での町民意見募集と候補地選定か 2 軟弱地盤の可能性は考慮されているか 3 緊急輸送道路に近接し優れた立地としている説明 4 概算工事費 26 億 4700 万円の一般歳出 76 億円の二宮町にとっての事業規模認識、15 億円としていた庁舎建設費が 26 億 4700 万円にまでなった理由	ポイントを押さえた質問で期待したが、納得いく二宮町の答弁は得られず。最初の登壇なので、町の反応を見ていたのかもしれないが、再質問の詰めが甘い。新人で年齢も若いので、議会の慣例にとられないバイタリティ溢れる厳しい追及を期待します。
	松崎 建 <1期>	一色小学校区地域再生協議会について 1 協議会発足に至る経緯 2 活力復活程度、問題解決への道筋は見えてきているか 3 活力復活・完了判断基準、目標達成時期 4 予算確保の可能性、持続可能な仕組みの構築の可能性 5 自力で移動出来ずにいる住民評価認識 6 区域外町民に対するの妥当性の説明	イベントに重点がおかれ、当初の狙いを失っている二宮町の対応を問題視したいようでしたが、町が民間の運営に立ち入れない一刀両断。財政の目的、町の役割や責任を明確化する必要がありました。
	小笠原陶子 <6期>議会基本条例推進委員会委員長	地域福祉の向上のための住民参加について 1 今までのボランティア養成講座の実施内容と受講状況と結果 2 ボランティアがいそいそ活動できる町か、スキルアップ講座 3 ボランティアのモチベーションを高めるための対策	今後福祉施設のボランティアリストも作成することがわかりました。しかし、事前に実態調査を終え、問題提起し、住民参加が進む仕組みを追及してほしい。議会は笑いより緊張感を。
	坂本 孝也 <3期> 総務建設経済常任委員会委員長	役場新庁舎建設計画について 1 ラディアン裏の空き地と調整池(駐車場)にした場合の影響→防災公園としての機能、借入金の残と名目変更、多目的広場の存否、菜の花イベント期間の駐車場機能の移動、ふれあい祭りの継続可否、現役場の取り壊し費用、町民センターの対策、建設費の妥当性 2 新庁舎は二小に降りるべき→スクールバスで一色小に毎日送り迎え、空き教室をリフォームして役場、町民センター、元駅前会館機能、保健センター・町立保育園などの複合、スクールバスは空き時間に全車町内巡回・無料	町長経験者で代替案も提案しているので、厳しい追及を期待。しかし、建設計画策定時に議会と密に話し合うことを約束させただけで、しばらくの議員という理由で、質問時間はまだあるのに自分から途中終了。他の議員から驚きの声も。こんな「開かれた議会」への逆行を許す議会では結果が期待できるか疑問。
質問しなかった議員		善波宜雄、杉崎俊雄、根岸ゆき子 (敬称省略・議長を除く・議席番号順)	